

寅さん歩 その23

東京の博物館めぐりー20

墨田区ー1

平野 武宏



文京区・新宿区で残った大学関係の博物館がありますが閉館中が多く、今回から墨田区の博物館めぐりです。写真右上は今や日本の名所となった東京スカイツリーです。寅次郎、事前の調査で墨田区の博物館（小さな博物館を含む）の多さに驚きました。エリアごとに区内に多くある博物館（記念館・資料館・展示館等を総称します）から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。各博物館の詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。まずは、「吾妻橋・押上エリア」の博物館です。各博物館は新型コロナウイルス感染拡大予防の対策を実施して再開館しています。入場料の記載なしは無料、最寄り駅は代表例と出口です。

バーチャルウォーク「中山道六十九次」の途中経過も報告します。

〔すみだ郷土文化資料館〕 墨田区向島 2-3-5

最寄り駅 浅草線 本所吾妻橋駅 A3

まずは墨田区の歴史を学ぶため訪れました。三ツ目通りを行き、言問通りから見番通りに入ると、墨田公園、牛嶋神社の先の左手にあります。（写真下左）「故郷との出会い、ときめきへの旅。」をスローガンに「すみだの歴史・文化」の理解を深め、感動（ときめき）を覚え、未来へと受け継ぐことを願っている



とのこと。1階展示室はすみだの歴史を資料やパネルで説明、2階展示室は隅田川をテーマに明治末年の墨堤の花のにぎわいをジオラマでの再現と東京大空襲体験画展（墨田区の人的被害は23区で最大）、3階企画展示室は「すみだの伝統

工芸品」を展示した「すみだ粋の世界」（写真右）。ここは撮影可でした。開館は9時～17時、休館日は月曜と第4火曜日（いずれも祝日の場合は翌日）、観覧料は個人100円、中学生以下は無料。



〔郵政博物館〕 墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ 9 階

最寄駅 浅草線 押上（スカイツリー前）駅



写真左は東京スカイツリーソラマチ入口です。地下鉄からはB3階でエレベーターに乗り、8階で乗換えの直結です。郵政博物館は2013年(平成25年)閉館した通信総合博物館の一部を引き継いだ施設で2014年(平成26年)3月1日に開館しています。「心ヲツナグ 世界ヲツナグ」をコンセプトに、郵便や通信の歴史を展示し、楽しく学べる博物館とのこと。開館は11時(通常は10時)～17時30分、定休日は不定期、入館料は大人300円、小～高校生150円です。

写真下左は日本最初のポストや郵便物を運んだ「人車」、写真下右は館内のように多くの切手の展示、郵便配達シミュレーターや切手検索システムの体験型の展示があります。



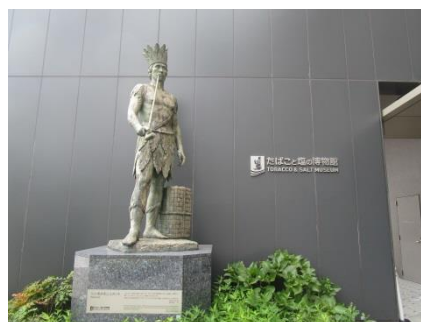
〔たばこと塩の博物館〕 墨田区横川 1-16-3

最寄駅 浅草線 押上（スカイツリー前）駅

たばこと塩の歴史と文化を紹介する博物館です。日本専売公社が1978年(昭和53年)渋谷公園通りに開館した博物館が老朽化・手狭になり、2013年に閉鎖、2015年(平成27年)4月日本たばこ産業が敷地内の倉庫(現在地)を改装して開館しました。大横川親水公園 平川橋の先にあります。

写真下左は正面入口、写真下右は入口左にある「シンボルモニュメント」です。

渋谷での開館当時にシンボルモニュメントとして制作されたもので、原型は 19 世紀の初め、スウェーデンのたばこ屋が看板として使用していたものとのこと。



2 階の展示は「塩の世界」です。今や「塩」は「塩分控え目」と扱われていますが、人や動物が生きていくうえで、欠かすことのできない生命の糧です。食べ物以外に工業用、ソーダ工場で変身するなど身の回りのほとんどの物に塩が使われています。各地には岩塩、潮塩、天日塩などの塩資源があります。内陸の塩資源に恵まれない日本では海水から作る独特な製塩技術も発達しました。写真下左はポーランドの岩塩(写真下左)と岩塩彫刻「聖キング像」(下右)です。



3 階の展示は「たばこの歴史と文化」です。今や健康で悪役の「たばこ」はアメリカ大陸の古代文明の中で、儀式用の植物として利用されたことを文化的な起源としています。16 世紀以降、嗜好品として世界中に広まり、各地で特色ある文化が形成されました。日本へは 16 世紀末に伝来し、江戸時代を通して庶民文化に溶け込み(写真下左)、独自のたばこ文化が生まれました。写真下右は各種の喫煙具です。



開館は 11 時（通常は 10 時）～18 時、休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）、12 月 29 日～1 月 3 日。入館料は大人・大学生 100 円、65 歳以上は半額、小学生～高校生 50 円です。

〔すみだ 3 M 運動 小さな博物館〕

古くから「ものづくり」のまちとして発展してきた墨田区。「すみだ 3 M 運動」は、小さな博物館 (Museum)、すみだマイスター (Meister)、工房ショップ (Manufacturing shop) の 3 つの ” M ” を通じて、すみだの産業やものづくりの魅力を伝えます。

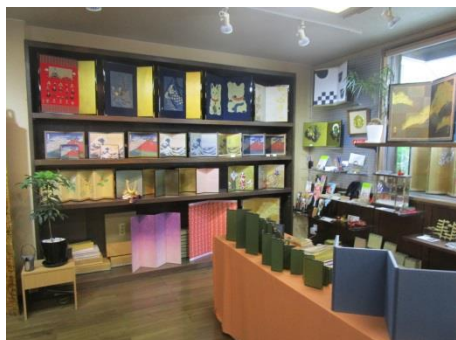


「小さな博物館」は 墨田区の「産業」や「文化」に関する製品、道具、文献・資料などのコレクションを工場、作業場、民家の一部で展示し、写真左の看板がかかっています。吾妻橋・押上エリアの「小さな博物館」を紹介します。

〔屏風博物館 片岡屏風店〕 墨田区向島 1-31-6

最寄駅 東京スカイツリーライン とうきょうスカイツリー駅正面口

小梅児童公園前にある 1946 年(昭和 21 年)創業の東京で唯一の屏風専門店です。節句用の屏風を中心にホテル式場、室内装飾用やオリジナル屏風制作もあります。写真下左は入口、下右は着物が屏風に生まれ変わります。



写真左はすみだが生んだ天才浮世絵師、葛飾北斎の名作を「北斎屏風」に仕立てています。ご主人、屏風の作り方を丁寧に説明してくださいました。希望すれば体験教室もあるとのこと。開館は 10 時～17 時、定休日は日曜・祝祭日（土曜不定休）です。

〔銚かんざし博物館 かざり工芸 三浦〕 墨田区東駒形 3-22-7

最寄駅 浅草線 本所吾妻橋駅 A3

地上に出て浅草通りを横断し、浅草方面に向かい、次の角を左に入り 2 本目の小道の右手にあります。四代続く「銚 (かざり) かんざし」の専門店です。

「銚 (かざり) かんざし」とは金属の板や線を糸ノコで切り、ヤスリ掛け、彫り、打ち出し、ロウ付け（溶接）などの技巧を凝らして作り上げるかんざしのことです。使い込むほどに風合いが増してくるのが特徴とのこと。歌舞伎や日本舞踊で使われる伝統的なかんざしや一般向けの和装小物を製造販売しています。



開館は月～金曜日 10 時～18 時、
土曜日 10 時～17 時、
（12 時～13 時は昼休み）
定休日は日曜・祝日です。
（催事中は休みとなります）

〔ちいさな硝子の本の博物館〕 墨田区吾妻橋 1-19-8

最寄駅 浅草線 本所吾妻橋駅 A3

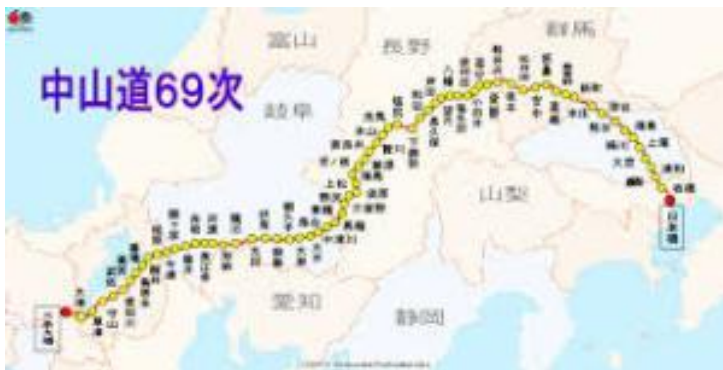
地上に出て浅草通りを浅草方面に進み、三叉路の一番手前の墨堤通り（区役所方面）を入るとすぐ左(写真下左)にあります。



手作りガラスの普及とより多くの人々にその魅力を知っていただく目的で松徳硝子グループの運営施設として開館とのこと。約 850 冊のガラス関連書籍と資料の閲覧やガラス製造で使用する道具の展示(写真上右)があります。かつて製造した食器の販売やガラスの表面に絵や文字を彫るリユーター体験(要予約)が出来ます。開館は水～日曜日は 10 時～19 時、火曜日は 11 時～18 時です。

【バーチャルウォーク途中報告】

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「中山道六十九次」に挑戦です。7月7日、日本橋を出立し、8月23日、日本橋から21番目の小田井(おたい)宿に到着です。現在の長野県北佐久郡御代田町で「姫の宿」と呼ばれました。参勤交代で大名が手前の追分宿(北国街道との分岐で歓楽地)で宿を取る際に夫人、姫君、側女たちの宿となったため。写真下右は今も残る町並みです。



しばらくは例会やYRがお休みですので、自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バー

チャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。
歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

また、ウォーキングで人との距離(2m以上)が確保できる場合はマスクを外して、
熱中症にご注意ください！

次回は 東京の博物館めぐり-21 です。

平野 寅次郎 拝